

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡市立心身障がい福祉センター分園すてっぷ長浜（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和6年度は保育所等訪問支援の利用がなかったため、事業所における自己評価のみを行う。			日
○保護者評価有効回答数				
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 2日		～	令和6年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和6年度は保育所等訪問支援の利用がなかったため、事業所における自己評価のみを行う。			日
○訪問先施設評価有効回答数				
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・心身障がい福祉センター（本体施設・児童発達支援センター）の分園であること。	・対象児が幼稚園や保育園に通っている児であるため、園訪問や園の先生との電話連携は必要と考えている。 園訪問は当施設では職員体勢が整わず、難しいが、心身障がい福祉センターの訪問支援専門員とコミュニケーションを取って、児の園での様子を把握するようにしている。	・現在も実施しているが、訪問支援専門員や当施設の職員の連携だけでは問題が解決しない場合は、心身障がい福祉センター内の職員に相談し、対策を考えていく等。
2			

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援を行う職員がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所との兼任職員のため、職員が抜けると支障が出る。園訪問を誰もしたことがなく、人材育成が必要と考える。 ・今年度、訪問要請があったとしても、他事業所と比べて回数は少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問事業についての概要説明、研修等が必要であり、実際に訪問に同行するなど、人材育成に力をいれることになると思う。 ・職員が抜けるときは、サポートの職員に入ってもらうなど体制づくりが必要である。
2			
3			